

最上川の植生

最上川は吾妻連峰に源を発しますが、この付近の植生はハイマツ帯、アオモリトドマツ帯、ブナ帯の安定した極相を示しています。

山中に発した最上川は、平野部では川幅が広くなり、沖積地を形成するようになります。このようなところには、ヨシ、ススキ、オギ、ハンノキ、ヤナギ類などの植物が立地条件の違いや競争関係のもとに多種多様な群落をつくり、河川敷独特の光景がみられます。

しかし、近年の河川改修にともなって河川敷を水田、畑、果樹園、運動公園などに利用しているため、本来の植生が失われチガヤ、オギ、ヨモギなどの草本類やオオアワダチソウ、ヒメジョーンなどの帰化植物が優占する群落に変化しています。又河口付近では砂丘の発達によりハマヒルガオ、ハマニガナ、コウボウムギなどの海浜植物がみられます。

河川敷の環境は年に何度かの増水により冠水するという河川敷独特の要素もあり、植生分布は土壌の物理的、化学的变化によって左右されます。

ハンノキ林



白鷹町の菖蒲のハンノキ林分

高水敷のやや湿気のあるところに小林分、孤立林、単生木として各所にみられます。

ハンノキは枝をはらって稲干しの支柱に使用されたり、河川管理のため伐採されたりしましたが、現在みられるのはこの様な整枝木や伐採後の芽生えなどの林分が大部分です。

ヤナギ林

以前の河川敷には広くみられた林分でしたが、近年の河川改修によって急速に減少し、現在では置賜地方の上流部、村山地方の通称古最上付近、最上地方の中流部のみ高木林がみられます。

ヤナギの立地は出水時にしばしば冠水し、又浸食を受ける環境にあり植物にとってはきわめて不安定なところではあります。

ツクシガヤ



県指天然記念物のツクシガヤ

日本では九州地方、奈良県、山形県にのみ分布する極めて稀なイネ科の植物です。本県では、川西町黒川橋下で初めて発見され、その後犬川橋、箕の子橋下さらに最上川流域にもその自生地が広がりました。しかし、現在では、黒川流域の河川工事や最上川の激流によって消滅してしまい、ただ一ヶ所箕の子橋下の自生地だけです。

北限のマルバヤナギと南限のエゾノキヌヤナギ

マルバヤナギは温暖な地方に分布し、本県では白鷹町の菖蒲の最上川右岸で初めて発見され、続いてその下流に数カ所と朝日町の「春日沼」に自生が確認されています。現在では、朝日町の最上川右岸が日本海側における自生地の北限地となっています。

一方、エゾノキヌヤナギは寒冷な地方に分布し、日本では北海道と東北地方北部に限られています。本県では村山野川の下流部で初めて発見され、その後舟形町の実栗屋と大蔵村清水の最上川流域にその自生が確認されています。村山野川の下流部は日本における自生地の南限となっております。

最上峡のスギ

最上峡兩岸のスギは古来付近の地名をとって土湯スギ、山の内スギと呼ばれ、さらに仙人杉、神代杉とも呼ばれてきました。樹令



最上峡の天然生スギ

1,000年以上の老木が多く、幹がタコ足状に分枝しております。このスギは日本海側に分布する天然生のアシオスギと同型のもと考えられています。林床にはユキツバキが自生しているのが特徴です。

山形のおしば展

～最上川の植物～

期日 昭和59年12月15日(土)～2月3日(日)



最上峡

開催にあたって

本展は館蔵のおしば標本の外、県内各地の植物愛好者からご出品いただいたおしば標本をもとにして開催しております。これらの標本の中には、山形県のフロラに新たに加えられた標本や分布上稀で、新産地として貴重な標本が数多く含まれており学術的にも極めて価値の高い催しであります。

本展はこうした貴重な植物について広く県民の方々の理解を深め、あわせて植物愛好者の日頃の研究成果の発表の場として研究水準のますますの向上をねらいとしています。

ご出品者の方々に厚くお礼を申し上げますとともに、この機会に、ぜひ、ご観覧下され、山形県の植物界の多様さ、また、植物と人間とのかかわり合いをご理解いただければ幸いです。

山形県立博物館長

出品目録

結城嘉美 山形市鈴川町1-5-15
 参考標本 ホタルイ属 クロアブラガヤ外19点
 布施隆 山形市五十鈴3-6-30
 参考標本 水生植物 マルバオモダカ外9点
 若松多八郎(2点) 鶴岡市三和町4-4
 キツネアザミ 鶴岡市三頼葉山 (分布極稀)
 ケナツツシマママコナ // 高館山
 鈴木暁(12点) 上山市新丁29
 ヒロハテンナンショウ 上山市久保川林道
 コメツブツメクサ // 月岡公園
 ヤマヤブソテツ // 葉山
 ニオイタチツボスミレ // 久保川林道
 ヒトツパテンナンショウ // // (分布稀)
 ヌリワラビ // 葉山
 ハクウンボク // 久保川林道
 イタチハギ // 南町
 小笠原俊彦(1点) 上山市松山
 ハゴロモミズナラ 高島町二井宿 (分布極稀)
 菅藤貞次郎(9点) 尾花沢市上柳渡戸656
 ツガルフジ 尾花沢市上ノ畑
 ユキザサ 大石田町大石田
 トガクシショウマ 村山市山ノ内 (分布稀)
 ミヤマワラビ 尾花沢市銀山
 土門尚三(6点) 飽海郡遊佐町大字小松字長田29
 オオズメノテッポウ 平田町中野俣林道 (新帰化)
 エゾイラクサ 遊佐町上江地
 トケンラン 遊佐町拓進 (分布稀)
 コキンバイ 平田町坂本 (庄内方面初採集)
 ウマノスズクサ 遊佐町釜磯
 舟越順悦(11点) 山形市大字上桜田633-1
 ヒルザキツキミソウ 山形市平清水 (新帰化)
 タカサブロウ // 小立
 マルバフジバカマ 山形東高校庭
 フシグロセンノウ 山形市平清水
 ホソバウンラン // 岩波
 フジカンゾウ // 土坂清水観音
 ワルナスビ // 龍山三百坊
 斎藤清(16点) 上山市高野72
 コシロネ 上山市甲石山
 アサダ(方言ヤマガキ) // (分布稀)

シロバナヒレアザミ 上山市甲石山
 クログワイ 上山市高野中谷地
 ムラサキウマゴヤシ //
 メグスリノキ // 甲石山
 エイザンスミレ // 上生居
 ベニバナボロギク // 高野大林 (分布稀)
 メギ // 高野大洞山
 黒沼美秋(2点) 山形市深町50-13
 コキンバイ 山形市高瀬川上流
 トガクシショウマ 村山市葉山 (県内最初の発見地)
 小形利吉(10点) 山形市東原町2-22-7
 シロバナツユクサ 山形市十日町一丁目
 ハイミチヤナギ 上山市弁天
 ワレモコウ 県民の森
 オオクサキビ //
 ブタナ //
 ギンミズヒキ 山形市本町一丁目
 石山美恵子(23点) 山形市城北町1-1-6
 ヒゴクサ 山形市関沢
 エゾタチカタバミ //
 オオレンシダ //
 ミヤマハギ //
 ブタナ //
 クサレダマ //
 ウンラン 遊佐町吹浦
 ヤブミョウガ(植栽) 山形市城北
 コスズメガヤ 最上町赤倉
 フトイ 山形市三本木
 加藤信英 東田川郡藤島町古郡水押10
 シラコスゲ 鶴岡市由良 (分布稀)
 ヒメフタバラン 藤島町浜川 ()
 サイゴクイノデ 遊佐町研川 (新採集)
 アスカイノデ // (新採集)
 イノデモドキ // (分布稀)
 オオベニシダ 遊佐町上小野曾 (分布稀)
 ヒトツボクロ 鶴岡市加茂坂 (分布稀)
 ヒメガंकンピソウ 遊佐町掛川 (分布稀)
 イヌアワ // (分布稀)
 ホソバノイヌワラビ 温海町鼠ヶ関 (分布稀)
 エゾノチャルメルソウ 舟形山 (分布稀)
 大類貞夫(8点) 新庄市城南町2-29

エゾノキヌヤナギ 清水橋上流 (分布稀)
 トガクシショウマ 金山町後川 (新産地)
 ワニグチソウ 新庄市泉田
 ミチノクサイシン 鮭川村日下 (分布稀)
 シロバナオニアザミ 蔵王山
 佐川昇(14点) 山形市東原町3-8-13
 オニヒカゲワラビ 村山市名取 (分布稀)
 ミサキカグマ 南陽市中川 (分布稀)
 フモトシケンダ 村山市名取 (新採集)
 セイタカシケンダ // (新採集)
 シケンシダ 小国町下新田
 ヒロハイヌワラビ 最上町赤沢 (分布稀)
 メニッコウシダ 最上町堺田
 フクロシダ 朝日町朝日鉱泉
 シロウマイタチシダ 飯豊連峰 (分布稀)
 タニヘゴモドキ 小国町下新田 (分布稀)
 ハコネオオクジャク 山形市岩波 (分布稀)
 サカゲイワシロイノデ 西蔵王黒尻沼
 ミチノククマワラビ 山形市双月 (新採集)
 大高滋(15点) 尾花沢市大字尾花沢3645
 アカミタンボボ 大石田町大石田 (分布稀)
 ミズマツバ 尾花沢市徳良湖 (分布稀)
 フタバムグラ 尾花沢市朧気 (分布稀)
 タチモ //
 セイヨウヒルガオ 尾花沢市内
 ウスベニツメクサ (分布稀)
 ウサギアオイ 尾花沢市内 (新帰化)
 イヌザクラ 村山市湯野沢
 アズマシロガネソウ 尾花沢市牛房野
 高橋信弥 東根市鷲ノ森9-5
 シロネ 最上郡戸沢村 (分布稀)
 オニカサモチ 舟形山 (分布稀)
 ポントクタデ 面白山 (分布稀)
 ナンプソウ 東根市白森山 (分布稀)
 ミヤマアオダモ 大平温泉 (分布稀)
 オオクジャクシダ 大石田町豊田 (分布稀)
 トネテンツキ 村山市湯沢沼 (分布稀)
 山田寛爾 山形市小白川町4-5-37
 カモメラン 山形市高瀬川上流 (分布稀)
 ミヤマザクラ // (分布稀)
 シシヤブソテツ //